

日韓市民ネットワーク・なごや

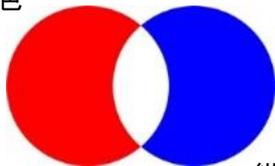
会報 No. 88
2020-3-10

한일 시민 네트워크 · 나고야

発行者：後藤 和晃
〒483-8037 愛知県江南市勝佐町東郷 238
TEL/FAX 0587-56-6788

Home Page: <http://home.m00.itscom.net/nikkan/index.html>

朱色



紺青

目次

- 1 事務局通信
- 2 お知らせ
- 3 会員の便り
- 4 トピックス
- 5 事務局後記

統括幹事：後藤和晃

事務局

会員：二日市 荘・岩田 晋

事務局

事務局



事務局通信

사무국 통신

事務局統括幹事 後藤和晃

(1) 確かめあった“韓国への友情”

～熱気に包まれた2/15交流会～

2/15(土)、私たちの会は“戦後最悪と言われる日韓関係”に加えて“新型コロナウイルスの衝撃”も重なった中で、①秀吉の朝鮮侵略を阻止した“日本人武将、沙也可”の講演会と②第23回総会および交流会を実施しました。



国際センター第一会議室

どれだけの参加者があるのだろうか？との不安をよそに、講演会は60人、総会は40人、交流会には50人に近い人々が集まり「こんな最悪の時期だからこそ、日韓の草の根の民間交流を絶やしてはいけない！」という皆さんの心意気をひしひしと感ずることができました。

この日の交流会は、午後5時半からイタリア料理店で3時間にわたって展開されましたが、交流の熱源になっていた人たちを紹介しましょう。

まず、遠い遠い鳥取県の米子市から、韓国・大邱市の市民たちと共に、岐阜出身の水崎林太郎翁の追慕祭を毎年実施している佐田山有史さん(商會社社長)の姿がありました。大阪からは、会社を定年で退職したあと、韓国・ソウルの名門大学として知られる高麗大学に6年も留学し、韓国語と韓国の歴史をマスターしてきたという岩田晋さんが参加されていました。

また、東京からは、戦前に大田の鉄道局長として鉄道の敷設に尽力する一方、自宅を大田で最初の洋館として建設した人物の曾孫の女性、水野佳羊子さん(小学校教員)が参加されました。



佐田山有史氏

一方、水崎林太郎翁の出身地である岐阜県からは、水崎翁顕彰会の会長代行の篠田正男さん（幼稚園理事長）や、顕彰に協力しようという韓国民団岐阜地方本部の監察委員長 李恵右さん、それに林太郎翁の曾孫の水崎元宏さんや、その妹の水崎宏江さんと宏江さんの息子、令於（れお）君の姿もあり、対話の花が咲いていました。

この他にも大学関係者の姿も目立ちました。愛知学院大の元教授で朝鮮王朝の研究者の西川孝雄さん、元立命館大学の教授で放送学の研究者、そして、市民の手によるFM放送を岐阜で実現している津田正夫氏、各大学で韓国語を教えている尹大辰氏、名古屋大学で教育学を教えている准教授の松本麻人氏、そして、愛知大学大学院の事務室の係長で民間交流に関心のある伊藤孝司氏など多士済々でした。

さらにニューカマー代表として、私たちの会と一緒に立ち上げた李尚勲さん（大宇ジャパン名古屋・部長）と奥さんの朴景媛さん、娘さんの李エランさん（大学1年）の一家も参加、対話を盛り上げていました。

交流会の最後は、例年通り、アリランの合唱でした。“アリランアリランアラリヨ”の歌声が、参加している人々の心の絆を強く結びつけているように見え、素晴らしい一夜でした。



篠田正男氏（水崎翁顕彰会代行）

日韓市民ネットワークの新展開にご理解を！

～会の名称・会費など改定します～

2月15日、会の総会で決議した内容は、ページから掲載し報告しますが、ここでは、会の名称の変更と会費の改定について背景など報告させていただきます。

- (1) 会の名称は日韓市民ネットワーク・なごやから、日韓市民ネットワーク（略称 日韓市民ネット）に改めます。これは、当初、名古屋を中心にした東海地方に集中していた会員が、今では北海道、東京、関西、九州にまで点在する形となり、“なごや”を強調する必要が無くなったと考えるからです。
- (2) **会費4,000円を2,000円と改めます。**これまで永い間、会員の皆さんには一年で4,000円の会費を負担していただく一方、韓国から学生交流団を招待する際には、寄付金も出していただきました。その結果、韓国から15回にわたって学生交流団を招いて奈良一泊旅行のプレゼントやホームステイの提供をしたり、留学生を犬山の国有林に招いて山歩きやバーベキューを楽しんでもらうこともできました。

また、日韓交流史講座を開講したり、その後で韓国や旧満州、日本の各地にテーマ紀行も実施するなど小さな団体としては望外の活動ができてきました。しかし、ここに来て日韓関係の悪化に加え、会員の超高齢化とあいまって、会費の納入額は急減の傾向にあります。とは言え、会費を高くすることは到底できず、**当面は会費を半額に抑えながら、活動内容も縮小し、組織の命脈を少しでも永らえるよう努力したいと考えます。**

こうした状況のため、これまで会費の納入をお願いしていなかった協力者や交流史講座の受講者の皆さん方にも恐縮ですが、振替用紙を同封させていただきますので、応援をお願いできる方は、ご協力、よろしくお願いたします。



(2) 第23回総会の決定事項

以下に①2019年度の活動報告②2019年度の会計報告・監査報告③2020年度の会組織表④2020年度の活動予定を順次、掲載しますので、ご覧下さい。

① 2019年度の活動報告

2019	日程	行事	備考
	4/8(月)	交流史講座① 強大国・高句麗からの渡来文化	講師 西谷正氏
	4/12(木)	水崎林太郎翁追慕祭 ～大邱市・寿城池～	水崎翁顕彰会が 参加
	5/22(水)	交流史講座② 栄光の文化大国 百済の渡来文化(1)	講師 西谷正氏
	6/12(水)	交流史講座③ 栄光の文化大国 百済の渡来文化(2)	同上
	6/21(金) ～23(日)	水崎翁訪問団に同行 ※各務原JCOBグループ	同行者 事務局 後藤
	7/10(木)	交流史講座④ 新興武力国家 新羅の渡来文化	講師 西谷正氏
	8/14(木)	交流史講座⑤ 一衣帯水の国 伽耶の渡来文化(1)	同上
	9/4(月)	交流史講座⑥ 一衣帯水の国 伽耶の渡来文化(2)	同上
	9/12(木) ～17(日)	日韓交流史紀行で初めて北朝鮮へ 高句麗壁画古墳紀行	企画・引率 西谷正氏
2020	日程	行事	備考
	2/15(土)	講演 朝鮮を救った武将 沙也可	講師 辻健氏
		総会と交流会	国際センター等

北朝鮮で撮影



壁画古墳



ピョンヤン



北朝鮮の壁画

② 2019 年度会計報告・監査報告

日韓市民ネットワーク・なごや

2019年度(令和元年) 会計報告書

自 2019年1月1日 至 2019年12月31日

【収入の部】		【支出の部】	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	927,801	通信費	83,414
年会費	266,000	印刷・コピー代	93,398
参加費	795,000	事務用消耗品費	48,589
寄付金	38,000	日韓交流関係費	167,168
助成金	0	ホームページ運用費	3,080
受取利子	10	会場・会議費	62,240
		協力者謝礼	489,364
		交通費	20,000
		手数料	8,259
次年度仮受金(総会参加費)	32,000	次年度仮払金(講演会会場費)	34,300
		次期繰越金	1,048,999
合計	2,058,811	合計	2,058,811

※会費内訳:68名 270,000円(前年比±0名 ▲2,000円)

※次期繰越金:1,048,999円(前年比+121,198円)

内訳(一般¥26,864+懇親会¥10,032+講座¥138,302+仮受仮払差額▲¥54,000)

令和 2 年 / 月 2 / 日

以上の通り、令和元年度(2019年)の決算を報告いたします。

会 計 早間 敏夫



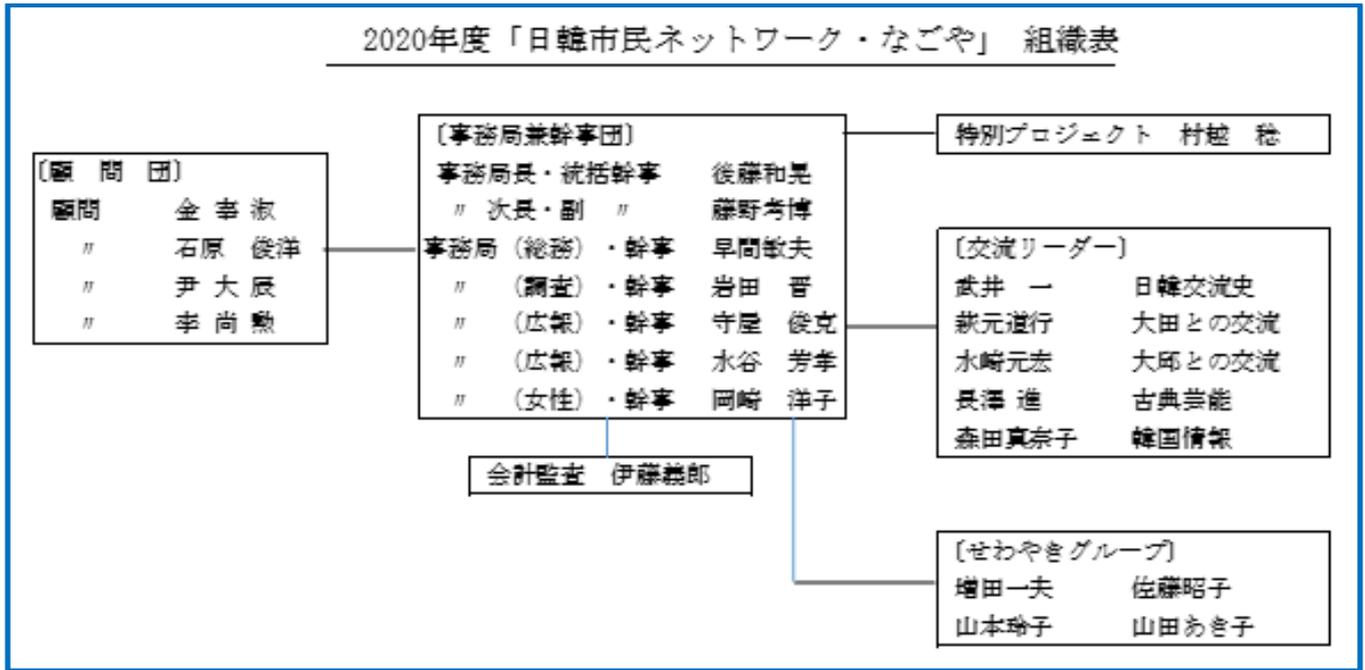
令和 2 年 / 月 2 / 日

監査の結果、正確かつ適正であることを認めます。

会計監査 伊藤 義郎



③2020年度の会組織表



① 2020年度・活動予定表

2020	日 程	行 事	備 考
	3/30(月) ~4/2(木)	日韓友情の旅 世界一美しい石仏と桜並木 そして日本人二人の記憶	慶州~大邱~釜山 ※コロナウィルスのため7月以降に延期
	4/20(月) 5/15(金)に変更も	交流史講座(1) こうして渡来人がやってきた	講師 西谷 正 氏
	5/18(月)	交流史講座(2) 百済系渡来人の展開①	講師 三松みよ子 氏
	6/15(月)	交流史講座(3) 百済系渡来人の展開②	同 上
	7/20(月)	交流史講座(4) 高句麗系渡来人の展開	講師 高麗 文康 氏
	8/17(月)	交流史講座(5) 渡来陶工400年の貢献	講師 15代 沈寿官 氏
	9/21(月)	在日の人々は今?	講師 田内 基 氏
	10/〇	国際交流フェスティバル参加 ~名古屋・栄~	ブース出展
2021	日 程	行 事	備 考
	2/13(土)	2021年度総会	国際センター
	4/21(木) ~24(日)	日韓友情の旅 (検討中)	講師 武井 一 氏

※四月上旬までウィルスの影響が及べば講座の全面中止も考えます。



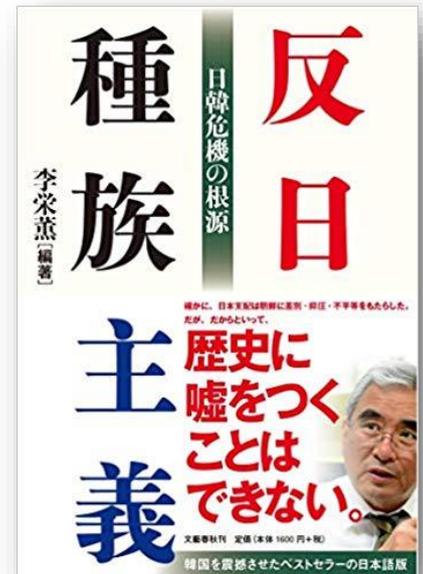
頭の中に散在していた韓国をめぐる疑問が一挙に氷解した本でした。文芸春秋社刊の李栄薫編著「反日種族主義、日韓危機の根源」のことです。この本は元ソウル大教授の李栄薫氏ら6人の学者が去年夏に出版し韓国でも11万部売れ、それを文春が翻訳出版したものです。反日ムードが社会を覆う韓国で、このような本を書いた6人の学者の勇気に心からの敬意を表したいと思います。学者たちは過去の記録を調べる実証的な調査を重ねることによって、韓国人が思い込まされている強い反日の根拠をことごとく否定しています。「種族」とは自分だけが正しいと信じている集団を指すそうです。

まず日本統治時代の土地とコメの収奪、徴用工を、論拠を挙げて否定するとともに、「竹島」は昔から韓国領だったとは断言できないとのこと。また日本への最大の攻撃材料である慰安婦のほとんどが、強制連行による性奴隷ではなく自発的な商売がほとんどで、ましてその数が20万人もいた事実はないとしています。

そして実証もされない間違った主張が世論となり、国定教科書となり、慰安婦像となり、ひいては大法院（最高裁）判決となっていることが記されています。「韓国社会は政府・メディアも含めて間違いとウソが支配しており、このままでは国を亡ぼす」としています。市民ネットワークの会員の方々にも、ぜひ読んでいただきたいと思います。

ただ、この本は1910年、日本が韓国を併合したことは許されないとしています。そのあたりはわれわれもきちんと認識しておきたいものです。そして肝心の韓国の人たちがこの本を読んで、事実にもとづかない日本への考え方を是正していただきたいのですが、...

※二日市 壮さんは、元NHK記者、退職後、韓国の国営放送局KBSの日本向けラジオ放送のデスクも勤めた人物です。



私の韓国語事始め 会員 岩田 晋

江南市出身で、堺市に住みながら韓国に通い続けている私は75才。会社を定年退職した後、なんと6年間も韓国の高麗大学に留学したので周囲の人たちからは“かなり変わった人”とみられているようです。

留学時代の話は、いずれ書かせてもらうこととし、今回は韓国語事始めの思い出を記してみます。

江南市での中学時代に縄文時代の石斧を拾ったのが、きっかけとなり、少年時代から、考古学や歴史学への関心が芽生えました。早稲田大学に入ってから、古代史の宝庫、奈良に憧れ古寺や博物館廻りをしたものです。社会人となり勤務地が東京から大阪に替った時には「ヤッター！これで心おきなく奈良に行けるぞ！」と歓呼しました。

その後、飛鳥地方出土の古代瓦に魅せられていた頃、奈良の博物館で「東洋美術の源流展」を見た結果、仏教美術の流れは古代朝鮮を経由して、飛鳥・奈良に伝わったことを知りました。



高麗大の後輩と岩田氏



高麗青磁の全羅南道康津で

飛鳥を知るためには、源流である古代新羅の都、慶州に行かなければ！と思いを立ちました。

そして「韓国に行くからには、挨拶くらいは韓国語で、できなければ！」と大阪の大型書店で韓国語の教材や辞書を探したのですが全く見当たりません。

困っていると同僚の一人が「在日の人が多く住んでいる鶴橋に行ってみれば！？」とアドバイスをくれました。

さっそく鶴橋の駅前周辺の書店を廻ったところ、S書店で辞書と教材を手に入れます。

ハングルのイロハの勉強もそこそこに、入手した辞書を

片手に、私は古都慶州を訪れました。そこで出会ったタクシーの運転手さんは、慶州の名所の数々を流暢な日本語で丁寧に案内してくれました。

別れの際に私が、覚えてたの韓国語で感謝の気持ちを表すと、彼は私の手をしっかり握りしめて「私の国の言葉で挨拶して下さいありがとうございます！！」と言いました。このひと言は、私の心の奥深くまでしみ込みました。

「たった一言の韓国語で、あれだけ喜んでもらえるのだ。日韓の間には、過去にいろいろ問題があったけれど、やはり、互いの言葉を学びあって対話するのが一番良いんだ！」と。

以来、私は東大阪にある市民向けの韓国語教室で学びながら、足繁く韓国に通うようになって行きます。

定年退職後に留学した高麗大学時代については、次の機会に書かせてもらいましょう。



仏国寺



慶州の古墳



dotpick トピックス

ハングルの看板掲げた喫茶店 ～岐阜県各務原市～

各務原市の一角に、しばらく前に開店した喫茶店の看板にハングル文字で수성모 (スソンモ) と書いてあり、通りがかりの人たちが目を丸くして眺めていきます。



水崎宏江さん 令於君

この店のオーナーは、各務原育ちの水崎宏江さんという女性です。彼女の曾祖父は、100年前に韓国の大邱に渡り、水不足に泣いていた現地農民のために、朝鮮総督府とかけあい、ついに巨大な農業用水池、寿城池（ハングルで수성못）を造成して“大邱農民の恩人”と称えられた水崎林太郎翁でした。

宏江さんは曾祖父と大邱との縁に惹かれて韓国に通ううちに、韓国への関心が募り、去年には大邱に2か月半留学し、韓国料理と韓国語を勉強して戻ってきました。

そして開店したのが喫茶店수성못で、かつての曾祖父の心意気を岐阜の人たちに思い出してもらおうとの願いが込められています。

彼女の息子で現在、オーストラリアに留学中の令於（れお）君は、「1年後には大邱に留学し韓国語をマスターしたら、そのまま大邱に住みついてもいいよ！」と語っているとか・・・

水崎宏江さん母子と大邱の交流を水崎翁もきっと笑顔で見守っていることでしょう。



店内の風景

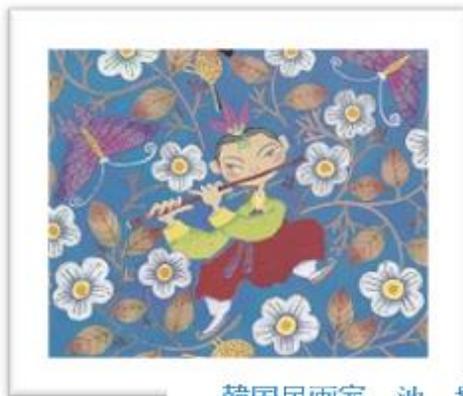


水崎林太郎翁



寿城池（ハングルで수성못）

大邱のコロナの流行が、1日も早く収束しますように！！



韓国民画家 池 貴巳子の作品



(写真提供：池 貴巳子氏)



事務局後記

사무국후기

トピックスで取り上げたスソソモツ（寿城池）のある韓国大邱市は、今、中国武漢から感染が拡大した新型コロナウイルスの感染者、死者を多数出している都市として、注視されています。

大邱の住民や、この地域を旅行した人たちの入国を制限しようとする国も増えています。

この大邱で、水崎林太郎翁の追慕祭を開き続けている友人たちは一刻も早く、この疫病が退散してくれるよう祈りながら、不安な日々を送っているそうです。私たちも大邱への旅が可能となる日が早く来るよう、大邱の友人たちと心を合わせ祈ろうではありませんか！！